

信州・山形村 川辺の 生き物



クロサンショウウオ

●サンショウウオ科
中部以北に見られる日本固有種の両生類。今回のYFRによる調査では、清水高原にて全長6cmほどのクロサンショウウオ2匹を確認することができた。黒色の体に小さな手足、クリっとした目が愛らしい。環境省レッドリスト2020には準絶滅危惧として掲載されている。



コオイムシ

●コオイムシ科
本州から九州まで幅広く見られる水生の昆虫。池や沼、水田などに生息する。メスがオスの背中に卵を産み、オスは卵が孵化するまで卵を背負うのが特徴。



ヤマアカガエル

●アカガエル科
本州から九州まで幅広く見られるカエル。のど元は黒く、背中の線が曲がっている。後脚に黒色の筋模様が見られ、全体的に赤褐色をしている。



番外編

ヤゴ

今回のYFRによる調査では、トンボの幼虫である「ヤゴ」が複数種確認されました。これだけのヤゴが川にいるということは、きっと成虫であるトンボもたくさんの種類が生息しているに違いない…期待が高まる調査結果となりました。

調査で見られたヤゴ

- ・イトトンボのヤゴ
- ・オニヤンマのヤゴ
- ・コオニヤンマのヤゴ
- ・サナエトンボ類のヤゴ

※このほか現地で種類を同定することができなかったヤゴ多数



親水公園

ふれあい児童館の裏に位置する「親水公園」は、水と親しめる場所として平成の始め頃に整備されました。流れる川は三間沢川で、比較的穏やかな流れが作られており観察のしやすいポイントです。
※所々深い場所や流れが急な場所もありますのでご注意ください。



サワガニ

●サワガニ科
本州から九州まで幅広く見られるカニ。一生を淡水で過ごし、暮らす場所によって体の色が様々に変化する。今回のYFRによる調査では、なろう原公園横の川でメスが卵をお腹に抱く姿で発見され、観察中に小さな子ガニが卵から一斉に孵化する貴重な様子を見ることができた。サワガニは、周辺に杉の木が多い川によく生息するともいわれている。



タイコウチ

●タイコウチ科
本州から九州まで幅広く見られる水生の昆虫。池や沼、水田などに生息する。大きな鎌のような前脚で獲物を捕獲する。おしりから出ている長い針のようなものは呼吸するための管で、これを使って息をする。



トノサマガエル

●アカガエル科
関東平野から仙台平野、北海道以外の地域で見られるカエル。トウキョウダルマガエルとよく似ているが、ややトノサマガエルの方がシャープな印象の体つきで、黒色の斑点が連続して見える。

トウキョウダルマガエル

●アカガエル科
関東平野から仙台平野、北海道に見られるカエル。トノサマガエルとよく似ている。ややずんぐりむっくりとした体つきの印象。緑色の体で黒色の斑点がある。



一般的な特徴をまとめたものです。詳細は図鑑などを参照してください。

～川辺の観察をする方へ～

村内にはたくさんの川が流れていますが、観察に不向きな川（流れが急である、前日の天候により増水している等）がほとんどです。川に入る場合には、危険な場所は避けたくうえで十分な安全対策をするとともに、周辺にお住いの方々の迷惑になるような行為は避けるようお願いいたします。
また、川の中に暮らす生き物はとても繊細です。むやみに捕獲するのではなく、観察が終われば元の場所へ帰してください。生き物にとっても、人にとっても気持ちの良い観察を心がけましょう。

川辺の観察時の身支度

ヘルメットやぼうし

ぬれても汚れてもよい服装
・長そで
・長ズボン等

長ぐつ等のすべらないくつ



タイコウチ

発行日 令和5年3月

発行 山形村教育委員会
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村2040-1
電話：0263-98-3155

印刷 カシヨ株式会社



山形村 [長野県山形村]
美専 [長野美術専門学校]

「Yふるさとレンジャー隊」リーフレットデザイン制作
YFR+長野美術専門学校 授業「デザインライゼミ」

信州・山形村
川辺の生き物
MAP

清水高原 きよみず

- クロサンショウウオ
- カワゲラの幼虫
- トビケラ類の幼虫
- マゴタロウムシ類(ヘビトンボの幼虫)
- サナエトンボ類のヤゴ

しほが長いよ! 目が小さい!
クロサンショウウオ

魚のエサになるかも、
唐沢川のイワナのエサかな?
トビケラ類の幼虫

山形村を流れる川

山形村を流れる代表的な川には、“唐沢川”と“三間沢川”があります。いずれも日本で最も長い川である信濃川の水系で、様々な川と合流し名前を変えながら遠く日本海へと繋がっています。村のなかには、これら2つの川以外にも数多くの身近な川が存在し、古の昔から現在まで人々の生活を潤し、作物を育て、生き物のすみかとして利用されてきました。本パンフレットでは、令和4年7月～9月にかけて実施したYFRによる調査結果等から、現在村内で見ることのできる川辺の生き物についてご紹介します。

川を汚さないで!
クラムボン は かぶ?かぶ?笑



ケロケロ
いっしょに合唱しよう!!
僕のチャームポイントは
目だよ

- なろう原公園**
- ヤマアカガエル
 - ツチガエル
 - サワガニ
 - ヤマトクロスジヘビトンボ
 - コオニヤンマのヤゴか?
 - そのほかヤゴ(未同定)数種類



卵が魚いゝと
きれいな水場が大好きです。
コオニヤンマのヤゴか?
山のさんぽが好き
平べったい背が特徴!



- 親水公園**
- サワガニ
 - オタマジャクシ
 - カワビル
 - コオイムシ
 - トビケラ類の幼虫
 - カゲロウ類(ザザムシ)の幼虫
 - イトトンボのヤゴ
 - オニヤンマのヤゴ
 - そのほかヤゴ(未同定)数種類
 - タイコウチ
 - ケラ
 - ヒメミズスマシ
 - トノサマガエル
 - トウキョウダルマガエル
 - ガムシ
 - フナ
 - ドジョウ
 - カワニナ

流れの緩い川が好き
ミミズや幼虫が好物
濁り川もぐいぐい登る!

カエルまぢ!

冷たい水の中に2年...
4回皮を脱ぎます。
私はもう1回脱皮し
おとなになる!!

小さい虫が好き

オニヤンマのヤゴ

トノサマガエル

皆さん、真夏を楽しく過ごせたらいいぞ。
お友達になっテ下さい



Yふるさとレンジャー隊<YFR>

長野県の市町村のなかで2番目に面積の小さな山形村。小さな村のなかには、ほかの地域に負けない豊かな自然が広がっています。人々を守るようにそびえ立つ巨木、空高く舞う鳥たち、足元に咲く可憐な草花。日々の暮らしのなかで見過ぎてしまいそうな、私たちの身近にある自然を観察し、その魅力を発見・発信するために集まったのが“Y(やまがた)ふるさとレンジャー隊”です。YFRのメンバーは小学4年生から大人まで、幅広い年齢層で自然保護を目的とした活動を行っています。

活動3年目となる令和4年度は、村内を流れる川に注目しそこにすむ生き物を中心に調査を重ねました。また、令和3年度に引き続き、長野美術専門学校の先生、学生とともに本パンフレットのデザイン制作にも取り組みました。